

情報公開連絡会について（追加質問 6）

【ご意見・ご要望】（投稿日：2016年9月16日）

これまでに情報公開連絡会に関する質問・意見について、副学長に回答いただいた内容（4月19日投稿「情報公開連絡会について」とその関連質問群）をまとめますと

- ・情報公開連絡会は学生と副学長が対面で有意義に意見交換・意見の共有を行う場となる
- ・現在は、一部の学生等が、一方的な主張を繰り返し、大学側に詰問口調で問い詰める場となっている
- ・情報公開連絡会の廃止により、大学から学生への情報発信が途絶えることは避けなければならないため、新たな手法を導入し、今後も学内情報を発信していく
- ・新しい情報発信は「情報公開連絡会の廃止のため」ではなく、京都大学の学生支援に関する情報提供がこれまで不十分だったという反省にもとづくものである
- ・部局長会議等の内容について、ホームページに公開されている議事録で情報量は担保されているため、情報公開連絡会で行っていたような口頭説明は行わない
- ・情報公開連絡会に意義はないと言うつもりはなく、情報公開連絡会の廃止はメリットとデメリットの比較の問題

ということになるかと思えます。情報公開連絡会の廃止は、学生と副学長が対面で有意義に意見交換・意見の共有を行う場が失われるため、学生にとってデメリットでしかありません。また、京都大学の学生支援に関する情報提供がこれまで不十分だったという反省があるのであれば、情報公開連絡会を廃止するという選択はあり得ません。新たな情報発信手法は情報公開連絡会と並行されるべきものです。副学長にとって、情報公開連絡会のデメリットは詰問口調で問い詰められることだと思えますが、大学側が情報公開を行う場である以上、ある程度は仕方のないものです。ただ、明らかに行き過ぎたものについては、それをしないように求めるのは当然と考えます。追加質問 4 で一例として提案いたしました、学生と副学長との間で、明らかに行き過ぎた怒号・暴言を慎むことと真摯な回答を行うことを相互に約束してから情報公開連絡会を開催するなど、副学長にとってのデメリットは回避可能です。また、これも追加質問 3 で意見いたしました、ホームページに公開されている議事録は、各項目について「説明があり、協議の結果、了承された」、「報告があった」という表現程度であり、説明、報告された内容の記述がありません。情報量は担保されておりません。このため、ホームページに公開されている議事録は情報公開連絡会の代替とはなりえません。情報公開連絡会を再開することを重ねて強く要望します。

追記

私が4月19日に投稿しました「情報公開連絡会について」に関して、「情報公開連絡会について（追加質問 2）」という投稿がなされておりますので、その内容に関して1点、私から意見いたします。学生意見箱が記名式であるため、学生が萎縮するという意見に対し、「学生諸君と大学「当局」との間の対立関係を前提としたもの」としか理解できず、同意できま

せん。」との回答がなされていますが、学生と大学の対立関係というよりは、学生の大学に対する信頼度・信用度の問題と考えます。8月10日に投稿しました「教育推進・学生支援部について」に述べた内容やこの情報公開連絡会の問題など、学生支援に逆行する事が続き、大学に対する信頼度は下がっています。

【回答】（回答日：2016年9月27日）

（学生担当理事・副学長 川添信介）

ご意見ありがとうございます。頂戴しましたご意見は、一つのご意見として承ります。